

予算特別委員会（全体会） 記録	
開 会 年 月 日	令和 3 年 3 月 17 日
開 会 時 刻	午前 9 時 57 分
散 会 時 刻	午前 10 時 34 分
出 席 委 員 名	◎吉岡勝裕 ○岡田善行 宮崎 誠 久保 真
	中村 功 井村貴志 上村和生 北村 勝
	楠木宏彦 鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子
	世古 明 野口佳子 福井輝夫 辻 孝記
	品川幸久 藤原清史 小山 敏 西山則夫
	山本正一 宿 典泰 世古口新吾
	浜口和久 議長
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	宮崎 誠 久保 真
担 当 書 記	森田晃司
審 議 案 件	議案第 2 号 令和 3 年度伊勢市一般会計予算外 9 件一括
説 明 員	市長 副市長 ほかに関係参与

審査経過

吉岡委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題とし、各分科会会長からの審査報告の後、討論を行い、1件ずつ採決を行った。その後、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することと決定した。

なお、一括10議案の起立採決の結果、「議案第2号」、「議案第5号」については賛成多数、他の8議案についてはそれぞれ全会一致をもって原案どおり可決すべしと決定し、会議を閉会した。

なお、その詳細は以下のとおり。

開議 午前9時57分

◎吉岡勝裕委員長

ただいまから予算特別委員会の継続会議を開きます。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

これより会議に入ります。

会議録署名は当初決定のとおりです。

それでは「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」外9件一括を議題といたします。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

審査につきましては、議案について各分科会から報告をいただき、報告に対する質疑、討論、採決という形で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをします。

それでは、審査に入ります。

各分科会からの報告をお願いいたします。

最初に産業建設分科会、北村会長からお願いいたします。

○北村勝産業建設分科会会長

去る3月1日の予算特別委員会において、産業建設分科会に割り振られました「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」外5件につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、3月4日及び5日に審査を行いました。

「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分、「議案第6号 令和3年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」、「議案第7号 令和3年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」、「議案第8号 令和3年度伊勢市土地取得特別会計予算」、「議案第10号 令和3年度伊勢市水道事業会計予算」及び「議案第11号 令和3年

度伊勢市下水道事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、労働費においては、女性や障がい者に対する就労支援について、インターンシップ等の実践的な事業を増やすことで就労者と企業 mismatches を防ぎ、離職率の減少を期待する意見、若年求職者等支援について、若者が入りやすい状況をつくり、インターンシップまでつなげることが大切であるとの意見、中小企業の福祉増進を支援するための補助金制度について、建設業・林業など様々な業種で取組を行うべきとの意見、伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金について、事業の再検討を期待する意見、中小企業 P R の支援について、既存の方法・カテゴリにこだわらず、就労につながる支援の促進を期待する意見がありました。

農林水産業費においては、担い手対策について、新規就農者をいかに定着させていくかという課題に対して、研究会の立ち上げを提案する意見及びスマート農業の導入、P R の充実により若者を取り込んでいくことを期待する意見、6次産業化推進について、生産者と他業種との橋渡しを期待する意見、農作物のブランド化について、当市独自の基準を考えていくべきとの意見及びやる気のある農家が使いやすい補助事業としていくべきとの意見、ジャンボタニシ防除事業について、効果が発揮できるよう周知の徹底を期待する意見、農地の中間管理について、中間管理機構の役割の周知徹底及び充実を期待する意見、産直施設での水産物販売について、各施設と連携し、安心・安全の徹底を期待する意見、農業用ため池について、防災・減災のために迅速なハザードマップ作成に期待する意見、排水機場の維持管理について、長時間稼働の排水機場を中心に I C T 化導入の促進を期待する意見、森林経営について、年次的に木材利用を進めることで健全な森林経営を期待する意見、林業を守っていこうという姿勢が感じられないと指摘する意見、獣害対策について、大学と連携し、さらなる対策強化を期待する意見がありました。

商工費においては、地域おこし協力隊について、しっかりと P R を行い、よい人材を確保することを期待する意見及び人材募集の際に空き家バンクの活用を提案する意見、首都圏等で行う物産展について、地域産品を販売するよい機会であり、効果的なものとなるよう期待する意見、商店街の A I を活用した通行量調査について、ビッグデータを有効的に活用することを期待する意見及び先進自治体の取組の研究を期待する意見、商店街の空き店舗対策について、関係団体と連携し、活気ある商店街となるよう期待する意見、伝統工芸品産業の振興について、補助金だけでは継続は難しいため、人材育成が大切であるとの意見、産業支援センターの管理・運営について、利用率が低下していることから将来のあり方についての検討を期待する意見がありました。

観光費においては、観光地の混雑状況配信について、データの利活用ができるよう三重県との連携を期待する意見、ターゲット戦略推進について、観光事業者の声を聞きながら、観光客の回復及び経済の活性化を期待する意見、クリエイターズ・ワーケーションについて、コロナ禍で実施できなかった方々に対して誠意を持って対応することを期待する意見がありました。

土木費においては、地籍調査について、近い将来に発生が予想されている南海トラフ地

震から市民の財産を守っていくためにもスピーディーな取組を期待する意見、道路工事について、早急に事業を進めることを期待する意見、計画をしてから事業が進まない道路工事について、将来を見据えた交通体系のあり方の再検討を期待する意見、宇治山田駅周辺道路の整備について、通勤・通学時及び雨天時に大変混雑することから、抜本的解決に向けた駐車場整備を提案する意見、通学路交通安全プログラムについて、毎年危険箇所が増えている現状があることから、新たな手法の検討を期待する意見、河川維持について、防災・減災の観点に加え、大学と連携し、生態系に目を向けた事業展開を提案する意見、ポンプ場の機能更新について、大雨時に市民が安心して過ごせるよう事業の進捗を期待する意見、立地適正化計画について、市民が計画を理解しているか疑問に感じることから、さらなる周知を期待する意見、駅前市街地再開発について、駅前B地区市街地再開発ビルへ福祉拠点施設の入居を断念したことによるC地区市街地再開発事業への影響を懸念する意見、整備が予定されているいせトピア公園について、今後も市民に丁寧な説明をしながら事業を進めていくことを期待する意見、公園の長寿命化について、安全面を考慮して一時停止をしている遊具が早期に使用再開できるよう期待する意見、空き家バンクについて、物件数及び成立数が少ないことから、積極的なPRを期待する意見、空き家バンク登録の際、市民に馴染みのない書類が多く、手続が複雑であることを指摘する意見、公営住宅の運営について、今後の指定管理料縮減を期待する意見がありました。

次に、特別会計でございますが、観光交通対策においては、来年度予定されている国民体育大会について、安全対策を実施し、万全の状態で受け入れができるよう取組を期待する意見がありました。

次に、企業会計でございますが、水道事業においては、水道事業ビジョンにより7年先の財政状況・市民負担が憂慮されることから、経営が安定している間に将来に向けた事業の見直しを期待する意見、下水道事業においては、水洗化率向上に向けさらなる努力を期待する意見、市民の中には雨水事業を求めている声があることから、雨水処理対策に重点を置いた事業の推進を期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。以上、産業建設分科会からの報告といたします。

◎吉岡勝裕委員長

以上で産業建設分科会会長報告は終了いたしました。

これより産業建設分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、以上で産業建設分科会会長報告に対する質疑は終わります。次に、教育民生分科会、吉井会長、お願いします。

○吉井詩子教育民生分科会会長

去る3月1日の予算特別委員会において、教育民生分科会に割り振られました「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」外4件につきまして、審査の経過並びにその結果

を御報告申し上げます。

当分科会は、３月８日及び９日に審査を行いました。

「議案第２号 令和３年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分については、原案どおり可決することに多数が異議ないこと、「議案第３号 令和３年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」、「議案第４号 令和３年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第５号 令和３年度伊勢市介護保険特別会計予算」及び「議案第９号 令和３年度伊勢市病院事業会計予算」は、それぞれ原案どおり可決することに異議がないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分のうち、民生費においては、新型コロナウイルス自宅待機者生活応援サービスについて、待機者の要望を小まめに聞き、対応を求める意見、保健福祉拠点施設への入居を断念したことによる福祉健康センターの今後の運営について、施設類型別計画等への様々な影響があることから、分かりやすい議論の展開を求める意見、障害者地域相談支援センターについて、地域包括支援センターとの一元化の検討、センターの周知、地域との連携を期待する意見、重層的な相談支援体制の整備について、人員配置や人材育成の強化を期待する意見、地域共助の基盤づくりについて、守秘義務への配慮、地域や各種団体に十分に市の意向を伝えることを求める意見、寿バス券の発行について、交付率向上のために目標値を持ち、事業を実施することを期待する意見、保育のＩＣＴ化について、安全な保育や保育士の作業軽減に向けた取組を期待する意見、保育所の運営について、年度途中での入所や低年齢児の処遇にしっかりと対応を求める意見、親子３人乗り自転車購入補助について、道路整備等他部署と連携した効果的な施策を求める意見、学習サポート事業について、いじめ対応や拠点の配置等のさらなる研究を期待する意見、子育て支援の相談事業について、安心して働きながら子育てができる環境整備を期待する意見がありました。

衛生費においては、きれいなまちづくりの推進について、ごみ拾いをスポーツの要素として取り組む事例もあり、他部署と連携し、ごみ拾いの機会の創出を期待する意見、ごみの減量について、各種団体、企業、店舗等と連携し、マイボトル・マイカップの推進を求める意見がありました。

消防費においては、災害時要援護者の個別避難計画の策定について、他部署との連携、地域での相談を十分に行い、事業を展開していくことを期待する意見がありました。

教育費においては、いじめ防止対策について、ピンクシャツデー運動等の啓発活動により、いじめのない社会づくりに繋げることを期待する意見、職場体験について、子供たちの進路を考えるうえで具体的な職業イメージ向上のために事業の拡大を求める意見、学校水泳プールについて、今後のあり方の検討を期待する意見及びチームティーチングにより、教職員、子供たちに水泳の大切さをしっかりと認識してもらい、今後も事業を進めることを期待する意見、学校ＩＣＴ機器の導入について、教職員の負担が過度となることで子供たちと向き合う機会が減少しないよう取組を求める意見及び持ち帰り学習時の各家庭でのＩＣＴの整備について、しっかりとサポートを求める意見、いじめと不登校対策について、教職員が見えにくい部分を明らかにし、いじめが起らない学級づくりを求める意見、就学援助について、状況をしっかりと把握し、支援の充実を求める意見、企画展開催

について、情報発信に努め、盛り上がりを期待する意見、文化芸術鑑賞について、コロナ禍で文化芸術に触れる機会が減少している中、継続を求める意見、郷土資料館の設置について、庁内での活発な議論を求める意見、図書館の運営について、利用カードの電子化やアプリの導入検討を期待する意見、学校歯科保健指導について、タブレット端末も活用した歯磨き指導を徹底し、子供たちの習慣となるよう期待する意見がありました。

なお、会計年度任用職員制度について、保育士現場の正規職員と非正規職員との格差が依然として埋まっておらず、是正が必要であることから、一般会計に反対の意思表示をする委員が見えたことを申し添えます。

次に、特別会計でございますが、介護保険特別会計において、介護認定調査について、コロナ禍ではあるが、限られた調査員でしっかりと対応を求める意見がありました。

次に、企業会計でございますが、病院事業において、コロナ禍の対応が大変ではあるが、公立病院として市民の健康増進、生活の向上を目指して今後も地域医療の発展を図ることを期待する意見、コロナ禍での公立病院としての役割をしっかりと認識し、体制整備、経営改善を期待する意見、患者が減少しているのは健康なまちであるとも取ることができ、公立病院としてまち全体の状況を捉えていくことを期待する意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。以上、教育民生分科会からの報告といたします。

◎吉岡勝裕委員長

以上で教育民生分科会会長報告は終了いたしました。

これより教育民生分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、以上で教育民生分科会会長報告に対する質疑は終わります。

次に、総務政策分科会、小山会長、お願いいたします。

○小山敏総務政策分科会会長

御報告申し上げます。

去る３月１日の予算特別委員会において、総務政策分科会に割り振られました「議案第２号 令和３年度伊勢市一般会計予算」につきまして、審査の経過並びにその結果を御報告申し上げます。

当分科会は、３月１０日に審査を行いました。

「議案第２号 令和３年度伊勢市一般会計予算」中当分科会関係分については、原案どおり可決することに異議ないことを確認しましたので、御報告申し上げます。

審査の過程における主な意見としましては、一般会計予算中当分科会関係分の歳出でございますが、総務費においては、令和３年度はベテラン職員の退職が多くなることから、後継者育成に期待する意見、職員採用試験の受験者が減少しており、公共サービスを守る上での人材確保を求める意見及び福祉やＩＴの専門職を将来的に採用していくことに期待する意見、新型コロナウイルス感染症対策による関係部署の残業増加を危惧する意見、職

員の不祥事や交通事故が発生したことに対し、しっかりとした取組を求める意見、職員研修について、自治体D Xや新たなI C Tに対応していくための研修が必要であり、現場の状況を把握した研修構築を求める意見、広報発行事業では、市民アンケートの結果を鵜呑みにすることなく、市民に読まれる広報づくりに期待する意見、デジタル化推進では、行政のI C T化において、高齢者等のデジタルデバイド・情報格差への対応を求める意見、来年度設立のスマートシティ推進協議会について、官民連携によりデジタル技術を活用して市民ニーズに合った地域課題の解決に期待する意見、出会い・結婚支援事業について、コロナ禍ではあるが、イベントを工夫して結婚を希望する若者が参加できるような取組に期待する意見、行財政改革について、楽観視できない厳しい財政見通しであり、財政面で効果のある改革を求める意見、時代に合わせた事業の選択と集中に取り組むことに期待する意見、定住自立圏構想について、目に見える成果がないため、交通・観光・病院などの広域連携に取り組み、分かりやすく成果を上げるよう求める意見、財政調整基金について、民生費や衛生費の支出が伸びており、直近の5年間で最も取り崩しが多く、また清掃工場及び学校の建設等も予定されている楽観視できない状況のため、対応を求める意見、公共施設マネジメント施設類型別計画は究極の行財政改革であるが、更新経費の抑制額の目標が達成できておらず、計画の見直しを求める意見、サウンディング型市場調査の結果を基にした地元との協議が遅れており、早急に対応を求める意見、2年連続で中止のいせまつりについて、コロナ禍ではあるが市役所全体で取り組むことで伊勢市の活性化に期待する意見、ふるさと未来づくり資金について、まちづくり協議会から自治会へ分配する制度に統一することを求める意見及び今後のまちづくり協議会存続へ向けて、市の職員がまちづくり協議会へ入り、企画あるいは運営そのものに関わっていくことに期待する意見、防犯カメラ設置事業について、データが漏れたり設置目的以外の目的利用や第三者に提供したりすることのないように管理体制をしっかりとすることを求める意見、映像データの保管期間が1週間では短く、データの保存期間について再検討を求める意見及び市民の生命と財産を守ることは行政の責務であり、交通事故が多発している場所や通学路等について市が率先して設置するよう求める意見、犯罪被害者等支援事業について、金銭的な支援も必要だが精神的な支援、相談支援への対応も求める意見、観光旅行者や市外在住で市内で事件に遭われた方への対応について検討を期待する意見及び本来起こってはならないことで、市が殺人事件の被害を想定することにもなる。予算をつけるなら1,000円の出しで良かったのではないかと意見、戸籍台帳基本費について、委託業者変更により窓口業務が遅くなっていることについて、研修等の対策を求める意見、マイナンバーカードについて、保険証への利用などさらなる利便性の向上を求める意見がありました。

消防費においては、救命講習について、コロナ禍ではあるが少ない人数でも回数を増やして実施することを期待する意見、新型コロナ感染者の救急搬送等における消防職員の感染防止対策の徹底と搬送について十分注意することを求める意見、消防団員のなり手不足のため、家庭や企業に対して安全についての理解を高めるための周知啓発や消防団の体験訓練、体験入団などの対応を求める意見、消防水利の塗装の色が薄い場合、消防活動に支障を来す場合があるため、直ちに対応するよう求める意見及び備蓄物資について、アレルギーのある人への備蓄食のさらなる対応を求める意見がありました。

次に歳入でございますが、市税について、新型コロナ等による支払い猶予をしているが、支払い困難となる前に対策や対応をしていくことを求める意見がありました。

審査における主な意見としては以上のとおりでございます。以上、総務政策分科会からの報告といたします。

◎吉岡勝裕委員長

以上で総務政策分科会会長報告は終了いたしました。

これより総務政策分科会会長報告に対する質疑に入ります。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、以上で総務政策分科会会長報告に対する質疑を終わります。

これをもって各分科会会長報告及び質疑を終わります。

続いて、総括質疑に入りますが、通告はありません。よって、これをもって総括質疑を終わります。

続いて、議案第2号外9件一括に対する討論を行います。討論はありませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

「議案第2号 令和3年度伊勢市一般会計予算」について日本共産党として反対討論を行います。

反対の理由、まず一つ目は会計年度任用職員制度についてですけれども、この制度はもとも任用の適正化と待遇の改善を目的として導入されました。ところが、従来フルタイムで勤務していた非常勤職員の勤務時間を15分短くするなどして給料が減らされています。また、この措置は総務省の「勤務時間をわずかに短く設定することは適切ではない」という指摘に反しております。また、ボーナスの支給割合が政府が2.6か月としているのにも関わらず、伊勢市は1.45か月としている。これは不当だと思います。さらにどれだけ勤続年数を重ねても報酬に上限があるというのは正規の職員と比べて大きな格差を残すものであります。非正規職員の待遇改善につながってはいない、非正規職員と正規職員の格差を固定化する、こういった内容を持つものですので、このような会計年度任用職員の制度の運用を認めることはできません。

次に、二つ目の理由として、マイナンバー制度の問題があります。政府が国民一人一人に生涯変わらない番号をつけ、多分野の個人情報をもつて利用できるようにすると、こういう制度ですけれども、これはプライバシー権の侵害の危険を持つ重大な問題を持つ制度だと考えます。個人番号制度は欧米などでもいくつかの国で開始をしましたが、人権侵害などの理由でイギリス、ドイツ、オーストラリアなどの国々では撤回あるいは見直しが進められております。また、アメリカや韓国では何千万人という単位での個人情報が漏洩すると、こういった事件が発生しております。このような先進事例を教訓とし、これ以上の予算の投入はやめるべきだと考えます。

次に、三つ目に自衛官募集事業なんですけれども、自衛隊への適齢者名簿の提供に係る予算、これは個人情報保護の観点から大きな問題を含むと考えます。どんな自己情報がどこへ提供されているかを知り、不当に使われないようにする、そういう権利、自己情報コントロール権、情報の自己決定権、これはプライバシー権の一つであり、憲法が保障する基本的人権の一つであると考えます。個人情報を提供することについて、本人に通知したり、あるいは提供の同意を得たりすることは最低限必要なことでないかと考えます。

以上のような疑義、問題を含む予算案である以上、私たちはこの予算案に賛成することはできません。以上反対討論とさせていただきます。

◎吉岡勝裕委員長

他に討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

他にないようですので、以上で討論を終わります。

ただいまから議案第２号外９件一括を採決いたします。

１件ずつ採決してまいりたいと思います。

まず「議案第２号 令和３年度伊勢市一般会計予算」を採決いたします。

議案第２号について、これを原案どおり可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立多数と認めます。

よって「議案第２号 令和３年度伊勢市一般会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第３号 令和３年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第３号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立全員と認めます。

よって「議案第３号 令和３年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第４号 令和３年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を採決いたします。

議案第４号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立全員と認めます。

よって「議案第４号 令和３年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」は、原案どおり

可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第 5 号 令和 3 年度伊勢市介護保険特別会計予算」を採決いたします。

議案第 5 号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございます。起立全員と認めます。

よって「議案第 5 号 令和 3 年度伊勢市介護保険特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第 6 号 令和 3 年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を採決いたします。

議案第 6 号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございます。起立全員と認めます。

よって「議案第 6 号 令和 3 年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第 7 号 令和 3 年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を採決いたします。

議案第 7 号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立全員と認めます。

よって「議案第 7 号 令和 3 年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第 8 号 令和 3 年度伊勢市土地取得特別会計予算」を採決いたします。

議案第 8 号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

起立全員と認めます。

よって「議案第 8 号 令和 3 年度伊勢市土地取得特別会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第 9 号 令和 3 年度伊勢市病院事業会計予算」を採決いたします。

議案第 9 号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立全員と認めます。

よって「議案第9号 令和3年度伊勢市病院事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第10号 令和3年度伊勢市水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第10号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございました。起立全員と認めます。

よって「議案第10号 令和3年度伊勢市水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

次に「議案第11号 令和3年度伊勢市下水道事業会計予算」を採決いたします。

議案第11号について、原案どおりこれを可決すべしと決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

◎吉岡勝裕委員長

ありがとうございます。起立全員と認めます。

よって「議案第11号 令和3年度伊勢市下水道事業会計予算」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。

以上で本委員会に審査付託を受けました案件の審査は終わりました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御協議いただきます案件は終わりました。

これをもちまして予算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時34分

上記署名する。

令和 3 年 3 月 17 日

委 員 長

委 員

委 員